

第 227 回競技委員会議事録

1. 日 時：2014 年 1 月 10 日（金）18 時 00 分～19 時 45 分

2. 会 場：連盟本部事務局

3. 出席委員：

競技委員会：委員総数 12、定足数 8、出席 9（内委任状 2）で成立。

寺本直志委員長、山後秀幸、古田一雄、西田博

西田奈津子、田中陵華、仲村篤志

以下委任状：佐々部君敏、林伸之

欠席：正村祐一、斉藤千鶴乃、山菅昭夫

オブザーバー：中谷忠義

4. 議事の経過及び結果：寺本直志委員長を議長に議事を逐一審議した。

会議冒頭において中谷業務執行理事より競技会事業部と競技委員会との連携について話があった。
中谷理事退席。

第 1 号議案 各ワーキンググループからの報告

(1) MP・SP に関するワーキンググループからの報告

2013 年度前期 IMP の結果が MP に反映したところで新 SP についての分析について報告があった。特に SP の変動が大きかったプレイヤーと競技会の結果を分析したところ概ね良好な結果が得られた。2013 年度後期 IMP の結果が MP に反映したところで継続して調査を行うこととした。

(2) IMP に関するワーキンググループからの報告

2013 年度前期 IMP についてシニアの優遇制度について 1 名の制限でも優位に作用していることが報告された、2013 年度後期 IMP の結果を継続して分析することとした。

第 2 号議案 クラブディレクター承認の報告

(1) 事務局より下記 2 名に対するクラブディレクター承認の報告があった。

新島三喜男 (C-1035)

都千賀代 (C-1036)

第 3 号議案 VP スケールについて

(1) 渡辺杯の VP スケール EBU（イングランド・ブリッジ・ユニオン）の 20VP スケールを使用することとした。

(2) 競技運営規則の付則に、上記 VP 表（5-6 ボードと 7-9 ボード用）と B-a-M+VP の VP 表を記載することとした。また下記注意事項を記載することとした。

(1) JCBL 公認の競技会では下記の VP スケールを使用することができる。

(2) 主催団体は予め試合要項によって VP スケールを定めることができる。ただしスコアと VP の相関性がみたまされていること。（例えば獲得した IMP が少ないのに多い VP を得ることがあってはならない）

(3) 過去の使われたことのある VP スケールは資料集としてまとめ Web に掲載することを確認した

第 4 号議案 2014JCBL HANDBOOK について

(1) 事務局より誤植と思われる表記について報告があった。確認し 2014JCBL HANDBOOK にて訂正することとした。

第5号議案 クレーム後のハンドの公開について

- (1) クレーム後のハンドの公開について、『クレームの完了後、要請があればハンドを公開することとすること』で合意した。2014JCBL HANDBOOK『競技会での手続き』に記載することとし、文章の原案を事務局で作成することとした。

第6号議案 その他議案

- (1) 規則91条について上告が可能かどうかについて、ルール委員会で上告可能と決議されたことが報告された。外務大臣杯の上告については上告委員会を開催のうえ審議されたことが報告された。
- (2) 競技会規定の名称を競技会運営規則と変更する旨事務局から要請があり承認した。名称の変更に合わせて本文で変更の必要な箇所を改訂することとした。
- (3) 競技会運営規則のペア戦におけるスコアの集計方法の項目で、計算機の使用を前提とした計算方式を1番に記載し、使用しない方法を略式として2番に記載することとした。
- (4) ビディングボックスの使用方法について競技会運営規則の付則の表記を具体的表記にするよう事務局から提案がありこれを了承した。

次回競技委員会は3月5日（水）18時00分からの開催を予定する。

以 上